



2020年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年3月2日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東
 コード番号 2593 URL <https://www.itoen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本庄 大介
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 平田 篤 (TEL) 03-5371-7197
 四半期報告書提出予定日 2020年3月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期第3四半期の連結業績（2019年5月1日～2020年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第3四半期	379,214	△2.5	17,852	8.6	17,690	6.7	11,299	10.2
2019年4月期第3四半期	389,099	3.4	16,437	0.8	16,584	4.7	10,258	14.6

(注) 包括利益 2020年4月期第3四半期 10,452百万円 (7.0%) 2019年4月期第3四半期 9,772百万円 (△4.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第3四半期	91.79	91.57
2019年4月期第3四半期	82.82	82.63

(注) 上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年4月期第3四半期	291,072	154,229	52.5
2019年4月期	303,981	150,923	49.2

(参考) 自己資本 2020年4月期第3四半期 152,808百万円 2019年4月期 149,661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年4月期	—	20.00	—	—	—
2020年4月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については、以下（参考）をご覧ください。

3. 2020年4月期の連結業績予想（2019年5月1日～2020年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	498,000	△1.2	23,000	0.8	22,800	△1.8	14,200	△1.8	114.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年4月期3Q	89,212,380株	2019年4月期	89,212,380株
② 期末自己株式数	2020年4月期3Q	1,025,928株	2019年4月期	656,736株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年4月期3Q	88,246,287株	2019年4月期3Q	88,572,201株

(注) 上記の発行済株式数は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については、以下（参考）をご覧ください。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報(累計)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第3四半期	96.79	96.57
2019年4月期第3四半期	87.82	87.62

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年4月期	—	25.00	—		
2020年4月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(3) 第1種優先株式に係る連結業績予想の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益
	円 銭
通期	124.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(4) 第1種優先株式に係る発行済株式数

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年4月期3Q 34,246,962株 2019年4月期 34,246,962株

② 期末自己株式数

2020年4月期3Q 1,191,640株 2019年4月期 1,189,831株

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年4月期3Q 33,056,411株 2019年4月期3Q 33,276,977株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな景気回復が続きました。

飲料業界におきましては、各社の販売競争が継続するなか、個人消費は持ち直しているものの自然災害の影響もあり、事業環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当社グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお何を不満に思っているか」を常に考え、一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、以下のとおりとなりました。なお、特別損失として、「令和元年台風第19号」などによる災害関連費用として1億20百万円を計上しております。

売上高	3,792億14百万円（前年同期比2.5%減）
営業利益	178億52百万円（前年同期比8.6%増）
経常利益	176億90百万円（前年同期比6.7%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	112億99百万円（前年同期比10.2%増）

セグメント別の業績は次のとおりであります。

<リーフ・ドリンク関連事業>

昨年12月、世界包装機構（WPO：World Packaging Organisation）主催の「WORLDSTAR Packaging Awards 2020」飲料部門において、当社が独自に開発した「お〜いお茶」ブランドの電子レンジ対応ペットボトルが、「WORLDSTAR賞」を受賞いたしました。同ペットボトルは、誰でも火や熱湯を使わずに安全に再加温できる“ユニバーサルデザイン”であることに加え、環境負荷を軽減する“100%リサイクルペットボトル”であることが評価されました。当社はこれからも高い機能性と安全性を備え、そして環境に優しい容器展開を強化しながら、世界中のお客様においしく安心してお飲みいただける飲料製品の開発に努めてまいります。

また本年1月には、春限定「お〜いお茶」桜パッケージ製品を発売いたしました。それと同時に「お〜いお茶」を通じて、世界に誇る素晴らしい日本文化を体験いただける、「お〜いお茶“日本の魅力”を再発見！ご招待キャンペーン」を実施しております。今後も、お茶のリーディングカンパニーとして、時代とともに歩んだ「お〜いお茶」が「もっと身近な“日本”のお茶」として愛されるよう、さらなる発展を目指し、挑戦を続けてまいります。

紅茶飲料である「TEAs' TEA NEW AUTHENTIC」シリーズからは、昨年12月に紅茶をミルクと一緒に抽出し、アクセントにジンジャーを加えた深くやさしい味わいのミルクティー「TEAs' TEA NEW AUTHENTIC ミルクでいれたChai」を、本年1月にはりんごを生のまま紅茶と一緒に抽出した新感覚の紅茶飲料「TEAs' TEA NEW AUTHENTIC 生アップルティー」を発売いたしました。今後も「TEAs' TEA NEW AUTHENTIC」シリーズを通して、紅茶本来のおいしさを大切にしながらも、さらなる可能性に挑戦し、お客様に“新しいお茶の楽しみ”をお届けしてまいります。

この結果、リーフ・ドリンク関連事業の売上高は3,473億53百万円（前年同期比3.0%減）となり、営業利益は154億45百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

<飲食関連事業>

タリーズコーヒージャパン（株）におきましては、季節限定ビバレッジ「マスカルポーネティラミスラテ」や「アイリッシュラテ」などを発売し、ご好評いただきました。また、「赤のショコラベリーシブースト」をはじめ「ケーキセット」も好調に推移し、スイーツ等のフード類も伸長しました。新規出店も順調に進み、総店舗数は742店舗になりました。

引き続き積極的な投資とあわせて既存店舗の改装などによる活性化を図り、店舗競争力を強化することで、スペシャルティコーヒーショップとしての更なるブランド強化を図ってまいります。

この結果、飲食関連事業の売上高は272億55百万円（前年同期比4.3%増）となり、営業利益は28億78百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

<その他>

売上高は46億6百万円（前年同期比6.8%減）となり、営業利益は4億46百万円（前年同期比29.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりであります。

総資産は2,910億72百万円となり、前連結会計年度末と比べ129億9百万円減少いたしました。これは主に、「受取手形及び売掛金」が69億64百万円減少、「商品及び製品」が17億99百万円減少、「リース資産」が33億33百万円減少、「のれん」が14億72百万円減少したことによるものです。

負債は1,368億42百万円となり、前連結会計年度末と比べ162億15百万円減少いたしました。これは主に、「支払手形及び買掛金」が61億59百万円減少、「未払法人税等」が21億36百万円減少、「賞与引当金」が21億74百万円減少、「未払費用」が19億63百万円減少、「リース債務」が24億2百万円減少したことによるものです。

純資産は1,542億29百万円となり、前連結会計年度末と比べ33億6百万円増加いたしました。これは主に、「親会社株主に帰属する四半期純利益」により「利益剰余金」が112億99百万円増加し、「剰余金の配当」により「利益剰余金」が51億87百万円減少、自己株式の取得により「自己株式」が19億98百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績の進捗状況及び最近の経営環境等を踏まえ、今回見直しをせず据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,738	63,218
受取手形及び売掛金	56,581	49,616
商品及び製品	35,079	33,280
原材料及び貯蔵品	8,509	10,078
その他	13,615	11,819
貸倒引当金	△74	△84
流動資産合計	177,449	167,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,289	22,198
土地	22,335	22,266
リース資産(純額)	19,389	16,056
その他(純額)	20,170	22,874
有形固定資産合計	84,186	83,395
無形固定資産		
のれん	14,729	13,257
その他	4,227	3,684
無形固定資産合計	18,956	16,941
投資その他の資産		
その他	23,638	23,018
貸倒引当金	△248	△212
投資その他の資産合計	23,389	22,805
固定資産合計	126,532	123,143
資産合計	303,981	291,072
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,181	24,021
短期借入金	2,020	6,220
リース債務	5,051	4,175
未払費用	24,839	22,875
未払法人税等	4,660	2,523
賞与引当金	4,370	2,195
その他	5,350	4,605
流動負債合計	76,473	66,617
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	44,522	39,272
リース債務	7,450	5,924
退職給付に係る負債	10,313	10,616
その他	4,299	4,412
固定負債合計	76,585	70,225
負債合計	153,058	136,842

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	18,640	18,647
利益剰余金	119,242	125,354
自己株式	△4,547	△6,508
株主資本合計	153,248	157,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,279	1,822
土地再評価差額金	△6,053	△6,053
為替換算調整勘定	671	20
退職給付に係る調整累計額	△484	△388
その他の包括利益累計額合計	△3,586	△4,598
新株予約権	133	147
非支配株主持分	1,127	1,273
純資産合計	150,923	154,229
負債純資産合計	303,981	291,072

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)
売上高	389,099	379,214
売上原価	205,949	196,819
売上総利益	183,149	182,394
販売費及び一般管理費	166,712	164,542
営業利益	16,437	17,852
営業外収益		
受取利息	53	73
受取配当金	68	75
持分法による投資利益	192	73
その他	402	449
営業外収益合計	717	671
営業外費用		
支払利息	360	272
為替差損	15	332
その他	195	229
営業外費用合計	570	834
経常利益	16,584	17,690
特別利益		
固定資産売却益	9	4
固定資産受贈益	2	8
投資有価証券売却益	551	170
受取補償金	44	48
その他	0	2
特別利益合計	608	234
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	140	30
投資有価証券評価損	10	4
投資有価証券売却損	13	—
減損損失	160	112
たな卸資産廃棄損	673	—
災害による損失	69	120
特別損失合計	1,068	268
税金等調整前四半期純利益	16,124	17,656
法人税等	5,606	6,164
四半期純利益	10,517	11,492
非支配株主に帰属する四半期純利益	259	192
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,258	11,299

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)
四半期純利益	10,517	11,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△600	△413
為替換算調整勘定	△236	△668
退職給付に係る調整額	100	96
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	△54
その他の包括利益合計	△745	△1,039
四半期包括利益	9,772	10,452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,547	10,287
非支配株主に係る四半期包括利益	225	165

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2019年1月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	358,022	26,135	4,941	389,099	—	389,099
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	330	10	2,159	2,500	△2,500	—
計	358,353	26,145	7,101	391,600	△2,500	389,099
セグメント利益	13,776	2,972	633	17,382	△944	16,437

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△1,122百万円、セグメント間取引178百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2020年1月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	347,353	27,255	4,606	379,214	—	379,214
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	283	11	2,185	2,480	△2,480	—
計	347,637	27,267	6,791	381,695	△2,480	379,214
セグメント利益	15,445	2,878	446	18,770	△917	17,852

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△1,112百万円、セグメント間取引195百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。